

- 01 OOHの現状とトレンド
- **02 OOHの種類**
- 03 OOHがよく利用されるシーン
- 04 OOHのプランニング方法
- 05 まとめ

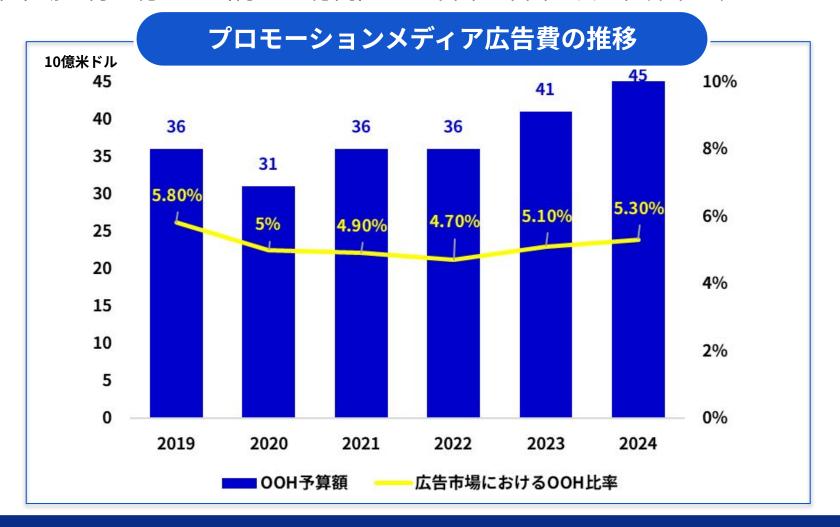


- 01 OOHの現状とトレンド
- **02 OOHの種類**
- 03 OOHがよく利用されるシーン
- 04 OOHのプランニング方法
- 05 まとめ



OOHの現状とトレンド

- 世界的に見るとOOH広告市場は堅調に成長して、2024年の市場規模は約450億ドル(約6兆7500億円)。
- そのうち日本市場は約29億ドル(約4350億円)で、中国、米国に次ぐ世界第3位。



日本の課題

市場回復の遅れ

COVID-19で減少した出稿が、 海外に比べて戻りが遅い

デジタル化の流れ

海外で進むDOOH(デジタルOOH) への移行に追いついていない



これらの課題に対応するため、2025年9月18日に 「一般社団法人日本OOHメジャメント協会」が設立された。

一般社団法人 日本OOHメジャメント協会<u>https://www.joaa.jp/</u>

01 OOHの現状とトレンド

02 OOHの種類

03 OOHがよく利用されるシーン

04 OOHのプランニング方法

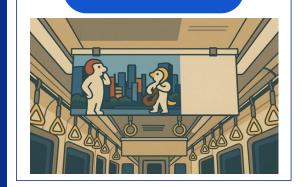
05 まとめ



OOHの種類

多様な媒体を組み合わせることで、ターゲットや目的に合わせた立体的なリーチが可能。

交通広告



駅サイネージ



車内サイネージ



バス停広告



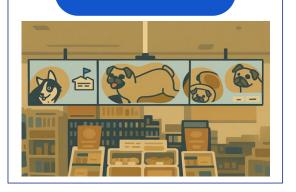
屋外サイネージ



タクシーサイネージ



店内サイネージ



屋外ポスター・ ボード



参照:ホワイトペーパー LIVE BOARD×交通広告×大型OOHとの重複効果を分析 ~サービス・商品認知、興味、購入・利用意向~

©LIVE BOARD,INC. 2019-2025 All Rights Reserved.

- 01 OOHの現状とトレンド
- **02 OOHの種類**
- 03 OOHがよく利用されるシーン
- 04 OOHのプランニング方法
- 05 まとめ



OOHがよく利用されるシーン

- OOHは特に「人の流れ」と「タイミング」を捉えた施策に強みを発揮する。
- **OOHは**「認知拡大」「話題化」「ターゲットへのピンポイント訴求」を同時に実現できるのが特徴。 特に季節感やイベント性のある広告は、SNSでシェアされやすく**二次的な広がりも期待**できる。



新商品・新サービスの発表時

季節イベント(ハロウィン、クリスマスなど)

ブランドのリニューアルや継続的な認知施策

特定のターゲット層が集まる時期や場所

- 01 OOHの現状とトレンド
- **02 OOHの種類**
- 03 OOHがよく利用されるシーン
- 04 OOHのプランニング方法

05 まとめ



OOHのプランニング方法

一般的なプランニング方法

エリア特性や経験則をもとに 出稿先を選ぶことが一般的で、 ある程度セオリー化された媒体選定が主流。

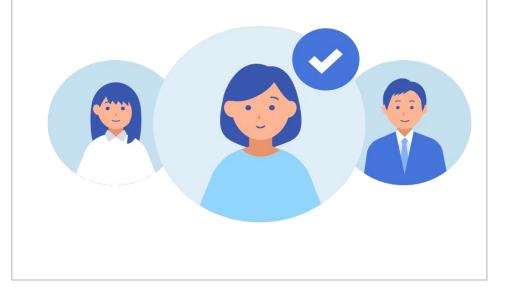


クリスマスシーズンに表参道・銀座に 広告を掲出するなど

LIVE BOARDのプランニング方法

位置情報データやモバイルデータなどを 組み合わせることで、

データに基づいたメディアプランを構築可能。



LIVE BOARDならではのプランニング

例えば、「ゲーム関心層」であれば、従来は「秋葉原」が定番の出稿エリアとして想起されがちである。 しかし、実際のデータ分析では、秋葉原以外にもゲーム関心層が多く集まるエリアが全国各地に存在し、 より効率的かつ戦略的にリーチできるロケーション・ビジョンを特定することができる。



- 01 OOHの現状とトレンド
- **02 OOHの種類**
- 03 OOHがよく利用されるシーン
- 04 OOHのプランニング方法
- 05 まとめ



まとめ



OOH市場は今、デジタル化とデータ活用を背景に大きな進化の局面を迎えており、 これまで「場所」や「経験」に基づいて行われていたプランニングが、 データによって裏付けられた「人」中心のアプローチへと移り変わりつつある。



これからのOOHは、単なる「街中の広告」ではなく、 生活者とブランドをつなぐ重要なコミュニケーションチャネルへと進化。

LIVE BOARDは、データとテクノロジーの力でその変革をリードし、より豊かな広告体験と持続的な市場成長の実現を目指す。

https://liveboard.co.jp/

